

## 令和3年度（補正予算）

### 関係人口創出・拡大のための対流促進事業 （中間支援組織の提案型モデル事業）

#### 事業の実施結果 （概要）

団体名	Whiskey&Co.株式会社
事業名	地域ブランド創りを起点とする関係人口づくり - 三島ウイスキープロジェクト -

- 7回のオフライン/オンラインイベントに延べ500名（オンライン・リアル参加）が参加し、アンケートでは「三島市や、プロジェクトに継続的に関わりたい」と回答した割合が77%と非常に高い期待が得られた。
- また、継続的な交流の場として提供したオンラインコミュニティにはイベント参加者以外も含めて延べ750名が参加し、「DAO的な組織」としてコミュニティメンバーが自主的に発信や交流、企画立ち上げを推進した。

## 主な活動内容

### 1. 三島及び東京における交流イベントの実施

- 10月13日のキックオフイベントを皮切りに全7回のイベント（月1-2回）を開催。
- 「WEB3・DAO関心層」「お酒づくり関心層」「地方創生関心層」とイベント毎にターゲットを変え、参加者のすそ野を拡大。
- イベント実施に当たっては三島市役所、NPO、地元事業者、学生を積極的に巻き込むことで、三島の新しいプロジェクトとしての浸透を図り、そこに市外の関係人口を巻き込めた。

### 2. DAO的コミュニティ「key3」を通じた継続交流

- イベントの参加者に本事業と並行して立ち上げたオンライン・コミュニティ「key3」への参加を促し、継続交流の場を設けた。
- 「key3」にはイベント参加者のほか、メディア掲載で知った方やFiNANCIe等の他コミュニティ参加者も流入し、地元メンバーと市外メンバーの比率は1:9程度で関係人口づくりに寄与（\*メンバー対象アンケート結果に基づく）。

## 主な成果

### 1. 参加者や地域の声

- 参加者（都市部住民等）からは、「本プロジェクトがきっかけで三島を知った」「三島の魅力を知った」「これからも継続的にプロジェクトに関わっていきたい」という発言があった。
- 地域住民からは、「本プロジェクトと連携して地域を盛り上げていきたい」との声があり、市役所、地元の事業者、NPO、商工会や高校など様々な方がイベントづくりに参画した。
- 本プロジェクトにかかわったことがきっかけで三島に移住を決めたコミュニティメンバーも生まれた。

### 2. 事業を通じて得られた気づきや知見

- 本事業は「ブランド創りの過程への参画が関係人口の拡大に寄与しうる」という仮説の検証をひとつの目的としていたが、イベント参加者アンケートで「プロジェクトや三島市に継続的に関わりたい」との回答が77%となったことや、key3メンバーの交流状況から正しいと示された。



イベントの様子



パネルディスカッションの様子



FiNANCIe上のオンライン・コミュニティ参加者主体で企画や交流が進む



オンライン配信の様子。10/24のイベントでは地元高校の学生有志がオンライン配信やイベント進行、リアル・オンライン会場からのコメント対応をすべて実施



## 事業実施体制・関係機関

### イベント登壇者と主な肩書 (Whiskey & Co.社以外)



- ・ 國光 宏尚氏 (株フィナンシエ 代表取締役CEO)
- ・ 林 篤志氏 (一社NextCommons Lab 代表理事)
- ・ 柳澤 大輔氏 (面白法人カヤック 代表取締役CEO)
- ・ 山本 希氏 (NPO法人みしまびと理事長)
- ・ 静谷 和典氏 (第8代マスターオブウイスキー)
- ・ 松山 謙氏 (Ken's barオーナー)
- ・ 古田 秘馬氏(株式会社umari代表)
- ・ 白木 夏子氏(HASUNA Founder & CEO)
- ・ 林 厚見氏(SPEAC共同代表 / 東京R不動産デベロッパー)
- ・ 森谷 雄氏 (SUPER SAPIENSS プロデューサー)
- ・ 岩本 義弘氏 (株式会社TSUBASA代表取締役, 株式会社南葛SC代表取締役専務兼GM)

団体名	役割
Whiskey&Co.	事業企画・運営全般、イベント登壇
三島市	10/13キックオフイベント後援
みしまプラザホテル	イベント会場提供
NPO法人みしまびと	イベント登壇・イベント会場提供
FiNANCiE	イベント登壇・key3プラットフォーム提供
LtGスタートアップスタジオ	交流会会場提供
地元ボランティアスタッフ	イベント運営、動画配信 (三島高校の有志学生)、撮影等
地元事業者・飲食店	key3法人サポーターとしての参画
その他委託外注先	動画制作、広報、事業運営支援等

## デジタル分野に関する取組状況

- ・ イベントの参加者に本事業と並行して立ち上げたオンライン・コミュニティ「key3」への参加を促し、継続交流の場を設けた。
- ・ 「key3」にはイベント参加者のほか、メディア掲載で知った方やFiNANCiE等の他コミュニティ参加者も流入。メンバー発信でコミュニティを盛り上げるアイデアの議論や、企画立ち上げ、オフ会などが実施された。
- ・ 当初実施検討していた、メタバース空間での交流イベントについて、技術的な課題から参加者の体験価値が担保できないと判断し、実施を見送った(\*)。代わりに、Youtubeによるイベントオンライン同時配信とした。

(\*) VRグラスを所有しない参加者が大多数のなか、メタバースならではの没入感を得ることは難しく、単なる「遅くてストレスフルなWEB配信」となってしまう



FiNANCiE上のオンライン・コミュニティ参加者主体で企画や交流が進む



オンライン配信の様子。10/24のイベントでは三島高校の学生有志がオンライン配信やイベント進行、リアル・オンライン会場からのコメント対応をすべて実施

## 次年度以降の事業展開

- 令和4年度は積極的なプロモーション活動を通じて、事業モデルの検証を行うとともに、認知度向上と地元・関係人口双方の参画するコミュニティ初期メンバーの形成を行うことができた。
- 令和5年4月の蒸留所完成・製造開始を皮切りに、事業を本格始動するとともに、さらなるコミュニティ拡大・関係深化を目指す。

### 次年度以降の事業展開

- R5年 4月：蒸留所完成 製造開始  
ウイスキートークン（先行購入権）本格販売開始
- R5年 6月：まちなかでの熟成開始
- R7年 4月：熟成完了商品発売開始
- R8年 1月：R7年度決算にて15百万円の償却後営業利益ベースで黒字化を予定

次年度以降の収支計画

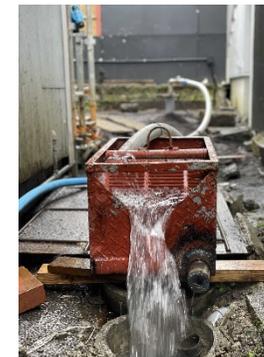
費目		R5	R6	R7
支出	原材料費	36百万円	43百万円	36百万円
	その他経費 (労務費、水道光熱費、減価償却費)	42百万円	50百万円	49百万円
収入	ウイスキートークン売上（先行購入権販売）	100百万円	150百万円	150百万円
	ウイスキー売上（熟成完了商品販売）	0百万円	0百万円	50百万円



←蒸留所は、三島市大社町の国登録有形文化財「懐古堂ムラカミ屋」をリノベーション



工事の様子。2階はBARとしてコミュニティメンバーのリアル交流の場となる予定→



←蒸留所に新設した井戸からは、無事お酒づくりに利用できる水質の水が。水が出た報告に、オンライン・コミュニティ上では祝福の声が多数投稿された

先行して発売しているクラブ・ジンをコミュニティ・メンバーが元旦に富士山とともに撮影。W社のSNS発信にも活用された→



## 自立・自走化にあたっての課題

- コミュニティの価値を高め続けるためには、三島でつくるウイスキーが期待を超える、世界で唯一無二の製品となることが重要。そのため、今後のお酒づくりに妥協なく取り組み、その過程をメンバーと一緒に体感していただく。
- 蒸留開始から発売開始まで3年かかるため、その期間を活かして関係人口拡大・盛り上げの仕掛けを継続的に実施する必要がある。